

健康福祉みらい部長の仕事宣言！ 進行管理表

健康福祉みらい部長 詫 間 聡

① リープロの名称	市民の暮らしを支えるまちをつくるプロジェクト
②目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・全死亡に対する早世（65歳未満の死亡）の割合 12.6% ・休日や夜間に受診できる医療機関を知っている親の割合[1歳6か月健診時]100% ・鳥栖市地域子育て支援センター利用者 36,000人 ・保育所待機児童数 0人 ・要支援・要介護認定者の割合 17.60% ・相談支援事業年間利用者数 310人
③今年度の目標	<ol style="list-style-type: none"> ①うらら健康マイレージクラブに参加しやすいように、通年での実施、ポイントの繰越など実施内容の拡充を図ります。 ②特定健診の受診率の向上を図ります。また、特定健診の結果がハイリスクである方へ家庭訪問による保健指導を行い、生活習慣病の重症化予防に努めます。 ③休日救急医療センターを運営するとともに、久留米広域小児救急医療センター事業に参加し、小児の救急体制を確保します。 ④保育所の定員増、認定こども園への移行を働きかけるなど保育供給量の確保に努め、待機児童等の解消を図ります。 ⑤保護者の育児不安の緩和のため、子育て支援センターでの育児相談や育児講座等を行います。 ⑥介護予防事業を進めます。 ⑦「いきいき健康教室」「ふまねっと教室」「ロコトレ教室」等、軽運動による健康的な生活習慣の形成と適切な運動習慣の普及定着を推進します。 ⑧障害のある人の自立支援を充実させます。 ⑨障害のある人が地域生活に定着できるよう支援体制の充実を図ります。
④上半期の取組内容	<ol style="list-style-type: none"> ①うらら健康マイレージカードをリニューアルし、交換商品に地元産の野菜を加えるなど、参加者の増加に努めました。 ②健康診査の実施とその結果による生活習慣改善の支援を行いました。 ③市報やホームページ、生後2か月を対象とした教室時に休日救急医療センターや夜間の小児救急医療サービスの周知を行いました。 ④来年度開園予定の3保育園について、順調な事業進捗が見られました。 ⑤子育て支援センターでの子育て親子交流の場の提供と子育てに関する相談等を実施しました。 ⑥⑦介護予防教室を各まちづくり推進センター等で開催するとともに、自主的な介護予防活動である「通いの場」の立上げを支援しました。 ⑧⑨障害者やその家族に対し、日常生活支援や福祉サービスの相談などを行いました。
⑤下半期の取組内容	<ol style="list-style-type: none"> ①うらら健康マイレージカードをリニューアルし、参加者の増加に努めました。 ②健康診査の実施とその結果による生活習慣改善の支援を行いました。

	<p>③休日救急医療センターや夜間の小児救急医療サービスの周知を行いました。</p> <p>④来年度開園予定の3保育園について、順調な事業進捗が見られました。</p> <p>⑤子育て支援センターでの子育て親子交流の場の提供と子育てに関する相談等を実施しました。</p> <p>⑥⑦介護予防教室を各まちづくり推進センター等で開催するとともに、自主的な介護予防活動である「通いの場」の立上げを支援しました。</p> <p>⑧⑨障害者やその家族に対し、日常生活支援や福祉サービスの相談などを行いました。</p>
⑥数値目標の結果	数値目標の結果としては、全項目にわたって達成できていない状況にあります。この結果を踏まえ各種施策に取り組んでいきたい。
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	年度間を通じて継続的な事業を実施することにより進捗を図ることができました。次年度に向けても、この「市民の暮らしを支えるまちをつくるプロジェクト」を継続的に行っていきたい。

◇副市長の指示

上半期

- ・各種事業について、課題等分析しながら改善に取り組み、事業実施、普及定着を推進すること。
- ・来年度開園予定の保育所について、適切な事業進捗を図ること。

下半期

- ・各種事業について、今年度の課題等を検証し、次年度以降の事業実施に取り組んでいくこと。

健康福祉みらい部長の仕事宣言！ 進行管理表

健康福祉みらい部長 詫 間 聡

①リープロの名称	多様な文化が息づくまちをつくるプロジェクト
②目標値	<ul style="list-style-type: none"> ・文化事業入場・参加者数 30,000 人 ・市民文化祭入場・参加者数22,000人 ・市有体育施設利用者数650,000人 ・市民スポーツセミナー（指導者向け）参加者数50人
③今年度の目標	<p>①市民文化活動の振興を図ります。 アウトリーチ事業、鳥栖市市民文化祭事業。</p> <p>②スポーツを「する・親しむ・見る・出場する・応援する・支える」機会の充実を図ります。 各種教室・大会開催、総合型地域スポーツクラブ支援事業、全国大会出場費の助成事業、サガン鳥栖支援事業、地域交流推進事業。</p> <p>③（仮称）健康スポーツセンター整備事業を推進します。</p> <p>④文化芸術・スポーツ施設の整備・利用促進を図ります。 スポーツ施設の合理的・機能的な運用</p> <p>⑤文化芸術・スポーツを担う人材・団体を育成・支援します。 鳥栖市体育協会、スポーツ推進委員会、鳥栖市文化事業協会委託事業、フッペル鳥栖ピアノコンクール事業。</p>
④上半期の取組内容	<p>①市内の保育園等に出向き訪問演奏（アウトリーチ）を実施しました。</p> <p>②地区スポーツ教室等を開催するとともに、(株)サガンドリームス等と意見及び情報交換を行い、サガン鳥栖への支援等を実施しました。</p> <p>③④文化芸術・スポーツ施設共に適切な管理・運用に努めるとともに、（仮称）健康スポーツセンター整備事業については、計画どおりの進捗を図ることができました。</p> <p>⑤各種団体と協力しながら、文化芸術の催しや指導者を対象としたスポーツセミナーを開催しました。</p>
⑤下半期の取組内容	<p>①市内の保育園等に出向き訪問演奏（アウトリーチ）を実施しました。</p> <p>②地区スポーツ教室等を開催するとともに、(株)サガンドリームス等と意見及び情報交換を行い、サガン鳥栖への支援等を実施しました。</p> <p>③④文化芸術・スポーツ施設共に適切な管理・運用に努めましたが、（仮称）健康スポーツセンター整備事業については、事業の先送りを決定しました。</p> <p>⑤各種団体と協力しながら、文化芸術の催しや指導者を対象としたスポーツセミナーを開催しました。</p>
⑥数値目標の結果	数値目標については概ね達成できていますが、（仮称）健康スポーツセンター整備事業については、事業の先送りを決定しました。
⑦成果と課題（次年度に向けて）	文化芸術スポーツの各種事業については、次年度に向けて継続的に実施を行っていきたい。ただし、（仮称）健康スポーツセンター整備事業については、他の事業の進捗状況を見極めながら事業着手の時期について判断します。

◇副市長の指示

上半期

- ・より多くの市民の方々が多様な文化芸術・スポーツに触れることができるよう、PR等に工夫を凝らし事業に取り組んで行くこと。

下半期

- ・文化芸術・スポーツの各種事業について、今年度の課題等を検証し、次年度以降の事業実施に努めること。